

3月3日 菊池えこめ牛うまかモン料理甲子園 高校生のアイデアレシぴでえこめ牛をPR

えこめ牛推進コンソーシアムがえこめ牛の普及促進を目的に泗水公民館で開催し、予選を通過した6チームが出場。菊池農業高校ストロベリーチームのレシぴ「キンピラップルコギ〜タコライス風」が優勝しました。



1_料理を仕上げるストロベリーチームの選手 2_優勝レシぴ。見た目の彩りと味のバランスが評価されました 3_出場チーム

3月7日 データベース活用講座 「ヨミダス歴史館」を活用しよう

市教育委員会が新聞記事データベースを学習に活用してもらおうとKiCROSSで開催し、菊池女子高校と菊池高校の生徒あわせて約90人が参加。新聞が発行されるまでの過程や製作者の思い、記事検索のコツなどを学びました。



講師を務めた読売新聞西部本社の高橋淳夫さんと熱心に話を聞く生徒たち。本講座は読売新聞の全国版にも掲載されました

3月15日 七城温泉ドーム 入場者777万7,777人達成!

平成9年3月にオープンした七城温泉ドームが21年目にして達成。777万7,777人目の入場者となった柳井一夫さん（熊本市）に、同施設のペア宿泊券や七城の米10kg、七城の加工品詰め合わせなどが贈られました。



柳井さんは「歩行浴と泉質が腰痛に効くので毎週末通っている。これからも楽しみながら通いたい」と喜びを語りました

3月3日～5月6日 坂本邸オープンガーデン 箱庭と座敷ざり無料展示会

坂本邸（高野瀬）でのオープンガーデン15周年を記念し開催中。坂本邸では地域おこしの一環として2004年からオープンガーデンを行い、美しく手入れされた庭園で世界中からの観光客4,700人以上をもてなしてきました。



製作者の坂本栄子さん（高野瀬）。6畳の箱庭は土台から飾りつけまで全て手作りで、地域住民も製作に協力しています

3月6日 泗水東小学校 「ワンダーぶんこ」卒業生を送る会

読み聞かせボランティアグループ「ワンダーぶんこ」（内野さと恵会長）のメンバーが卒業生に最後の読み聞かせを行いました。卒業生たちは目を輝かせ「花さき山」「12の贈り物」の物語やオカリナの演奏に耳を傾けていました。



メンバーは「みんなから元気もらった。自分の意見を伝えられる人になってほしい」と卒業生にエールを送りました

3月13日 菊池南中学校「立志のころ」 史跡巡りでふるさと発見

菊池南中学校が、将来の夢や進路の目標を定める節目として企画した「立志のころ」の一環として実施し、2年生137人が参加。班に分かれた生徒たちは、スタンプラリーで史跡を巡りながら地域の歴史を学びました。



チェックポイントの將軍木前。説明板やパンフレットを読み、気づいたことを話し合いながら学習する生徒たち

2月12日～25日 流川ふるさと今昔写真展 300枚の写真が物語る地域の歴史

流川区の公民館で地域住民が写真展を開催しました。老人会のメンバーが区の全世帯を訪ねて集めた展示写真は約300枚。日常の一コマや行事、人物を記録した写真の数々に、訪れた人は思い出話に花を咲かせました。



「絶景を映した写真はなく、住民たちのありのまま、生活そのものが伝わる写真」と説明する米岡陸雄区長㊤

2月22日 市内女子高生防犯・交通安全運動 KCGの3年間の活動に感謝状

市内の女子高生（菊池高、菊池女子高、菊池農業高）30人で構成するボランティア団体・KCGの卒業生10人に、市防犯協会と菊池警察署が感謝状を贈りました。同団体は防犯活動や交通安全の街頭啓発などに参加しています。



岩下希良梨さん（菊池高3年、前列右から2番目）は「活動で学んだことを生かし、今後も交通ルールを守りたい」とあいさつ

2月17日・18日・25日 防災士養成講座 災害に備えて地域のリーダーを育成

合志市御代志市民センターで、市が合志市・菊陽町と合同で開催し、3市町から約70人が参加。防災士の心得や地震の仕組み、気象情報の入手方法などを学び、地域の防災リーダーとしての一歩を踏み出しました。



体育館にさまざまな境遇の人が200人避難してくることを想定し、避難所運営をゲーム形式で学習しました

2月9日 熊日緑のリボン賞 上町老人会の環境美化活動が受賞

熊本日新聞社が県内の人知れず善行を続けている人やグループを表彰するもので、上町老人会（茨木國廣会長）による長年の清掃活動が評価されました。清掃は將軍木や能場の周辺を中心に、週3回、約20年間続けています。



左から中原亮介さん、茨木会長、川上勇藏さん。「文化財を大切によく散策してもらえるよう今後も活動が続けたい」

2月10日・21日 平昌オリンピック 菊池選手を市民で応援!

長野県南相木村出身で菊池一族の末裔といわれる菊池彩花選手、菊池純礼選手が女子団体追い抜き競技に出場。一族のふるさとから応援を届けようと生涯学習センターで開催し、市民約70人が駆け付けました。



「ニッポン！菊池！」と声を上げて応援。チームは予選を勝ち抜き、粘り強い滑りで見事金メダルを獲得しました

2月24日 花のまちづくり 講習会できれいな花壇ができました

市が行う花のまちづくり推進の取り組みとして憩いの森公園で開催し、市民12人が参加しました。講師の指導の下、ポイントを確認しながら枠内に花や石を配置。色とりどりの美しい花壇を完成させました。



完成した花壇と参加者の皆さん。参加者同士でも相談し合い、和気あいあいと花壇づくりに挑戦

■2月28日 菊芋・ヤーコン消費拡大 奥田シェフの菊芋・ヤーコン料理教室

菊芋とヤーコンの魅力を再発見してもらおうと市菊芋・ヤーコン振興協議会が生涯学習センターで開催し、市内飲食関係者ら13人が参加。奥田政行シェフによる9品のレシピが披露され、食材を生かす調理法を学びました。



普段と違う新鮮な調理方法に熱心に見入る参加者たち

■3月8日 菊池教育会里仁賞 小中学生の善行をたたえて表彰

菊池教育会（木原昭三会長）が菊池郡市の小中学生の善行をたたえるもので、市内から菊池南中学校、七城小学校、旭志小学校が受賞しました。3校は高齢者世帯サポート事業や地域の美化運動などに取り組んでいます。



木原会長（前列中央）は「他者を助ける精神を持つ人に育ってほしい」と話しました

■3月14日 明るい社会づくり協議会 隈府小学校に図書券を贈呈

菊池郡市明るい社会づくり協議会（田中康男会長）が、未来を担う子どもたちの健やかな成長に本を役立ててもらおうと贈りました。同会は、明るい社会づくりを目指し、地域清掃や青少年の育成事業に取り組んでいます。



古澤広義校長④は「子どもたちのために大切にしたい」とお礼を述べました

■2月23日 菊池川おむすびたい 日本遺産を生かし菊池川を考える

菊池川の10年後を考える会議が竜門ダム管理支所であり、住民ら約40人が参加。参加者によるアイデア発表では「手作りいかだで川下り」や「サイクリングロードづくり」などユニークな提案が次々と上がりました。



同会の名前には、菊池川流域の宝物を「結びたい」との思いが込められています

■3月6日 えこめ牛熟成肉試食会 えこめ牛の新たなおいしさに挑戦

JA 菊池や県、市などで構成するえこめ牛コンソーシアムがえこめ牛の新たな味わいを求めて熟成肉を試作し、試食会を開催。参加した畜産関係者や市内飲食業関係者はやわらかさや脂の質など6つの項目で審査しました。



一口ごとに水を口に含み、感覚を研ぎ澄ませて審査する参加者たち

■3月12日 熊本県トラック協会 市内小中学校に交通安全用品を贈呈

県トラック協会が市内の小中学校に反射キーホルダーとクリアファイルを贈りました。同会が社会貢献事業として毎年行っているもので、子どもたちが安全で楽しい学校生活が送れるようにとの願いが込められています。



藤木徳昭支部長④から浦田安之菊池教育事務所指導課長④に目録が手渡されました

■2月22日 短歌・俳句に親しむ 第12回万句のふるさと菊池表彰式

市教育委員会が七城公民館で開催し、最優秀賞を受賞した児童・生徒30人に表彰状と記念品を贈呈。みずみずしい感性のユニークな受賞作品が読み上げられるたび、会場からは大きな拍手が送られました。



県内や本市の姉妹・友好都市の小中学校から計10,591点の応募がありました

■2月28日 旭志小学校 ふるさとへの思いを民謡にのせて

民謡グループ「あ・うん会」のコンサートが旭志小学校で開催され、児童や地域住民が参加しました。同グループで旭志出身の田苗基春さんは長年母校でのコンサートを熱望。ふるさとへの思いを込め美しい歌声を響かせました。



旭志音頭を民謡アレンジで披露。手拍子や掛け声で児童も盛り上がる児童たち

■3月11日 第30回泗水町少年剣道大会 泗水町内の小中学生が熱戦

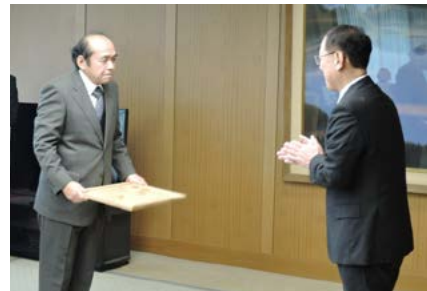
泗水武道館で開催され、44人の選手が出場。団体戦は小中学生混合で行いました。優勝 小学3年以下：澤田喬平（泗水西小3年）、4年：北村有寿（泗水小）、5年：澤田宗直（泗水西小）、6年：坂本蒼天（泗水小）



中学生の部優勝男子：庄野聖人（泗水中1年）、女子：内田有羽（泗水中2年）

■2月7日 緑化環境美化功労者表彰 東正観寺花愛好会が受賞

正観寺参道の清掃と花壇の花植えの継続的な取り組みが評価されての受賞。県が公園や道路などで植栽・清掃などの活動を5年以上、月1回以上行っている個人と団体を表彰するもので、県庁で表彰式が開催されました。



会を代表して出席した大瀨好宣さん（東正観寺）④、田嶋徹副知事④

■2月12日 日本一の桜の里づくり 城山の日5周年記念講演会

（一社）菊池観光協会が桜によるまちおこしの一環として開催し、約60人が参加。樹木医の和田博幸さんは「桜はいろいろな景色をつくる絵の具。菊池らしさを演出することでさらに名所となる」と可能性を語りました。



桜の名所づくりには、まず地域の人々が桜に関心を持つことが大切と学びました

■2月4日 熊本地震から復旧 日頭山宣頓寺落成式

熊本地震により堂が被害を受けた日頭山宣頓寺が上住吉区民の協力により改築され、落成式が行われました。宣頓寺の境内には合志一族の古い塔碑や樹齢800年の桜の木があり、地域住民に親しまれています。



堂の中には本尊として地藏菩薩と韋駄天像が鎮座しています

■2月2日 29年九州北部豪雨支援 朝倉市と日田市へ復幸応援米寄贈

市が福岡県朝倉市と大分県日田市に生活支援物資として寄贈しました。復幸応援米は昨年本市で開催した九州のお米食味コンクールと菊池米食味コンクールの出品米を使用。生産者や㈱中セキ九州の賛同により実現しました。



朝倉市森田俊介市長④に応援米を手渡す芳野勇一郎副市長④

■2月11日 泗水町内一周駅伝大会 27チームが泗水町内を快走!

孔子公園をスタート・ゴールに全9区間32.5kmのコースで開催し、24チームが参加しました。一般の部優勝：富納、2位：北住吉、3位：村吉、オープンの部優勝：菊池市陸協、2位：菊池消防A、3位泗水中サッカー部



JA 泗水支所前を一齐にスタートする選手たち

■2月18日 景観まちづくり 景観まちづくりシンポジウム

市が進める農業を生かした景観まちづくりの一環として旭志公民館で開催し、約60人が参加。パネルディスカッションや昨年市が策定した市景観計画の概要説明などから景観の大切さを再確認しました。



パネリストの熊本県立大学の柴田祐教授④、(有)阿部牧場代表取締役阿部寛樹さん④

■1月28日 第42回旭志一周駅伝大会 樺をつないで地域を元気に

旭志地区の区や企業から15チームが出場。選手たちは旭志支所前をスタートし、地域の応援を受けながら14区間を快走しました。優勝：九州柳河精機㈱、準優勝：楠・九・姫、第3位：ええばい妻越



スタートを前に気合十分の選手たち

■2月8日 県野菜振興協会 JA 菊池オクラ部会が表彰

県野菜振興協会組織活動コンクールの表彰式が行われ、本市からJA 菊池のオクラ部会の村上隆成部会長（上水次）が出席。会全体での過密栽培の取り組みや講習会の開催など、日々の努力が認められました。



表彰状を手にする村上部会長

■2月16日 宝くじの社会貢献広報事業 宝くじの助成金で備品を整備

（一財）自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として宝くじの受託事業収入を財源に行うコミュニティ助成事業により流川区でテント等の備品が整備されました。活用による地域活動の活性化が期待されます。



整備されたテントと椅子、デスクトップパソコンや周辺機器